

## 第291回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

<b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b>
今朝は急に気温が下がって寒くなりました。今日はいろいろな方が
ご参加されていて喜んでおります。いつも話しておりますが、明日
子供さんがトイレを使って綺麗になったねと喜んでもらえるように
掃除をしましょう。それと森さんが今回を最後に九州に帰られるそうで
また九州に帰られても掃除の会に入られて活躍してほしいと思います
<b>2、体験感想発表</b>
<b>・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)</b>
今日は男子と女子の洋便器を担当しましたが、両方とも地面を
止めているねじが外れなくて、回すと壊れそうな感じでしたので
後再点検をお願いします
<b>・佐々木 仁資さん(萩市・萩掃除に学ぶ会)</b>
今日は教頭先生と一緒に掃除をしました。心のアンテナがあると言われ
ますが、教頭先生はアンテナから色々と吸収されようという気持ちを感じ
ました。益田の掃除はそれぞれの方が気持ちを使いながら無言でやって
譲り合う精神が素晴らしいと思います
<b>・福原 英忠さん(安田小学校教頭)</b>
今日はありがとうございました。初めての参加でしたが、感動しました
皆さんのやってあげるの精神ではなく、やらせて頂く気持ちに感動です
子供達と一緒にできればいいのですが、今日のことを子供達に教えます
<b>・美原 善大さん(萩市)</b>
今日はあっという間に2時間たってしまいました。今日嬉しかったのは
20数年前小川中学校におられた福原教頭先生にお会いできて、本当に
懐かしもうそんなに経ったんだと思います
<b>・稲元 正敏さん(浜田市・浜田掃除に学ぶ会)</b>
代表から埃を取ってといわれ、女子トイレをやりましたが、応援もなく
しかしそれなりに出来て良かったと思います

<b>2、体験感想発表</b>
<b>・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)</b>
今日は人数的にも中途半端でしたので、女子トイレの排煙窓を掃除しました。きれいに
なったので明るくなったのではと自画自賛しております。校長先生も教頭先生も一所懸命
されておられて気合が入りました。やはり気持ちが深まりますね
<b>・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)</b>
今日は小便器を担当しましたが、比較的きれいで早く終わりましたが、松崎さんから
手抜きをしたのではと言われましたが、女子トイレに応援に行きました。しかしこれが
大変だったですね。稲元さんは8割でと仰ってましたがそういうわけにもいかずやりました
<b>・福原 宗男さん(遠田町)</b>
今日初めての参加です。この地で育って卒業した学校とは全く変わっていました。
掃除を見てしながら、自分が思っていた掃除よりかはるかにハイレベルで、皆さん
本当に大したものだと感じました
<b>・松崎 純次さん(益田市)</b>
この学校は家族全員が卒業した学校です。トイレは綺麗でした。稲元さんお応援に
いこうと思いましたが、中部さんがいかれているのでやめました。全体的にきれいに
なりましたので、気持ちもよき子供さん達がきっと喜んでくれると思います。
<b>・森 宣雄さん(益田市・キューサイファーム島根)</b>
最初のお話が有りましたように福岡に帰ることになりました。5～6年この会に参加して
色々な気付きを頂き、自分を高められたり有意義な時間でした。仕事を忘れて熱中でき
自分を見つめ直せる時間でした。息子も今周南の中西さんのお世話になって、今日も
週なんで掃除をしていると思います。
<b>・中島 恵治さん(安田小学校校長)</b>
今日は皆さんありがとうございました。昨年までは低学年のトイレをして頂きましたが
今日は5～6年生のトイレをお世話になりました。自分も大便器は初めてでしたが
2つめにも挑戦で来て少し進歩したかなと思います。便器は勿論のこと金属部分、壁等
すべてがきれいになって、火曜日子供達がきっと喜ぶと思います。

<b>4、鍵山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</b>
<b>温泉旅館ですること</b>
温泉旅館に行くと、風呂場の入り口に十も十五もスリッパが脱ぎ散らかしている光景に出合います。
その時私は必ず揃えるようにしています。風呂場から出る時も洗い桶は腰掛の上に伏せておきます
入口を見ると、またスリッパが散らかっているの揃えます。私は、人のスリッパを揃えて損をしたことが
ありませんし、人の洗い桶を片付けて損をしたこともありません。
<b>売上至上主義の弊害</b>
売上を上げる社員がよい社員、という評価も必ずしも当たっておりません。
売上を強制しますと、社員の心が荒んできます。また、百の実力しかないお客様に二百売りますと
相手の心も荒んできます。拳句のはては、資金繰りの為。仕入れた値段以下で売らざるを得なくなります。
結果において、世の中まですさむようになります。
<b>5、森信三先生の教え</b>
<b>一語千鈞より</b>
・信とは、いかに苦しい逆境でも、これで己の業が果たせるゆえんだと、甘受できる心的態度をいう。
・人はすべからく、終生の師をもつべし。真に卓越する師をもつ人は、終生道を求めて歩き続ける
その状あたかも、北斗星を望んで航行する船のごとし
・この世における辛酸如意、苦勞等を、すべてが前世における負い目の返済だと思えたら、
やがては消えてゆく。」だが、これがむずかしい。
・すべて物事の長短を冷徹に見て、しかも固定化せぬこと。しかも波動を波動のままとらえつつ、
流されないように……
<b>6・平澤 興先生語録より</b>
<b>平澤 興 一日一言より</b>
・偉い人というのは、生活の中に燃える情熱を持って、自分の持っておる百四十億の大脳皮質の
神経細胞を生かした人だ
・やればできるのです。やればできるのであります。ノイローゼとか、神経衰弱とかなんていうのは、まあ、
ぜいたくな病であります。本当に、命を懸けてやろうというとき、なかなか命は、なくなるようなことはないであります
・人は単に年をとるだけではいけない。どこまでも成長しなければならぬ。